

漁業分野作業安全学習教材

安全に
漁業を行うために



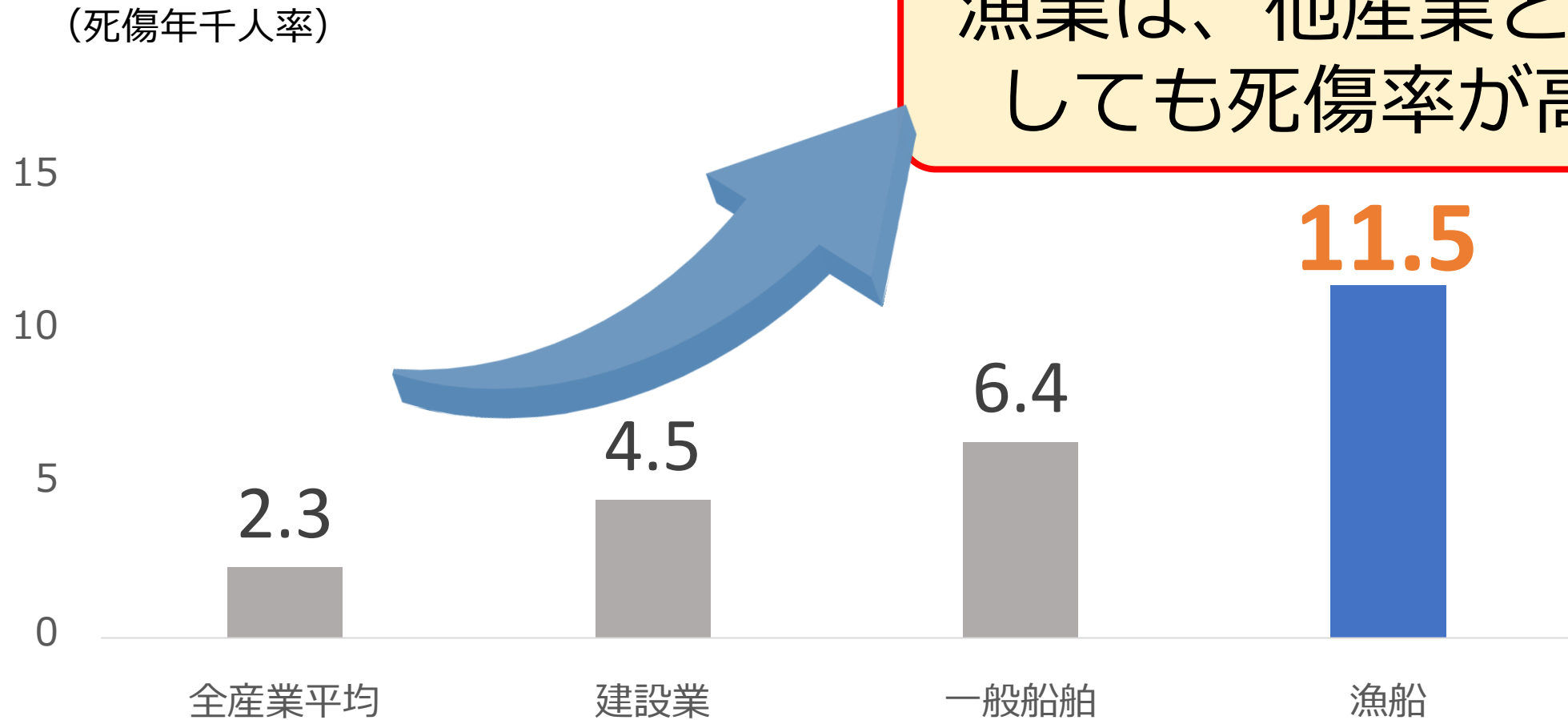
水産庁

01

安全に関する基礎知識

漁業における事故

業種別死傷年千人率（令和2年度）

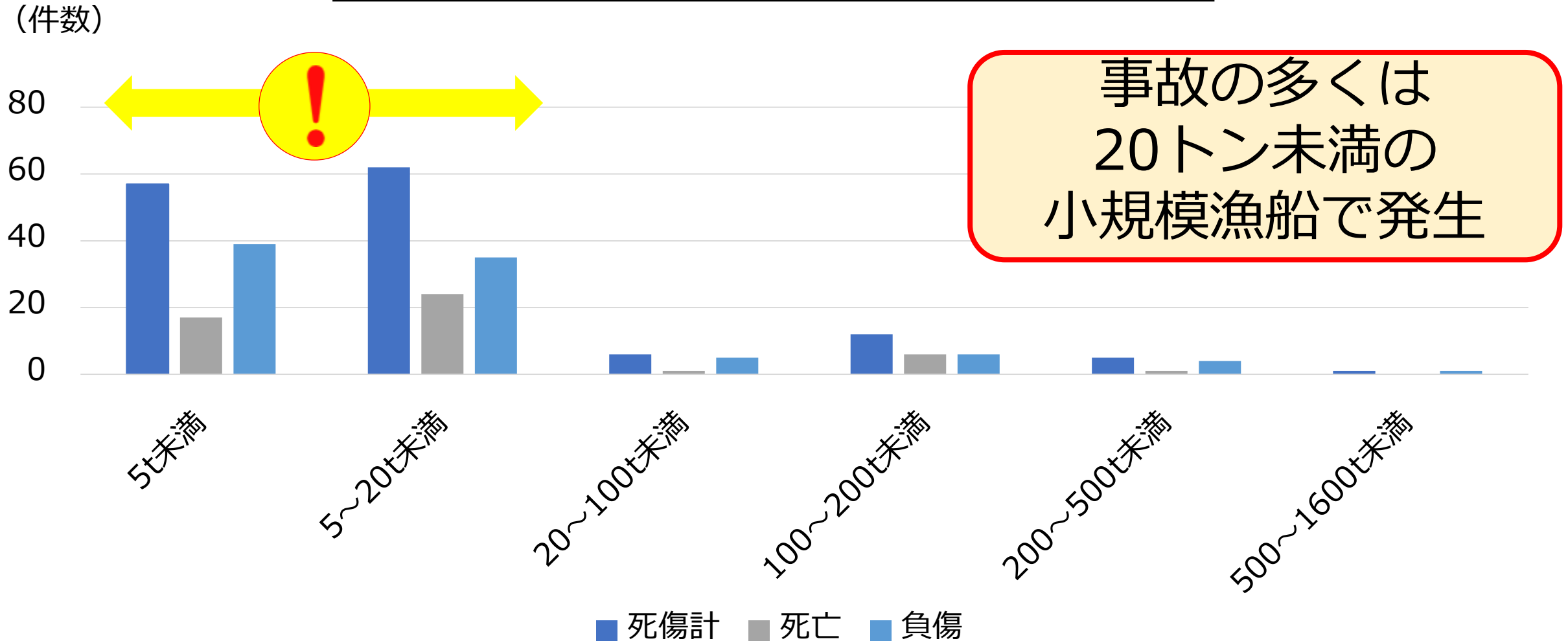


年千人率：1年間の労働者1,000人当たりが発生した死傷者数の割合

データ出典：国土交通省「船員災害疾病発生状況報告集計書」（令和2年度）、厚生労働省「労働災害統計」

漁業における事故

船舶トン数別死傷事故発生件数（平成27年～令和元年集計値）



データ出典：農林水産省「令和2年度農林水産業・食品産業における労働安全強化対策推進事業のうち新たな現場の作業安全対策の実現に向けた調査委託事業」（運輸安全委員会船舶事故報告書集計データ）

漁船の巻き上げローラーによる死亡事故

- 令和4年4月、まき網漁船（14トン）の乗組員男性（25）が漁網を巻き上げるローラーに挟まれ死亡する事故が発生
- 手を挟まれ、上半身を引き込まれたとみられている



海中転落による死亡事故

- 令和4年6月、漁船（11トン）から転落した男性（30代）が溺死



事故の類型

事故類型①

機械へのはさまれ・
巻き込まれ事故



約 3 割

事故類型②

転倒事故



約 2 割

事故類型③

海中に転落する事故



約 1 割

※割合は、国土交通省の把握する漁船の船員災害（令和2年度）に占める割合。

事故が起きた場合の影響

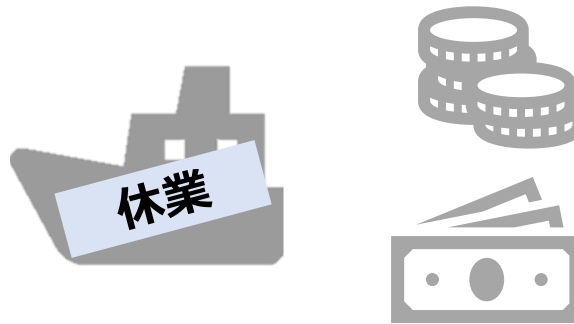
肉体的・精神的な ダメージ

- ケガをするだけではなく、後遺症や精神的なダメージが残る



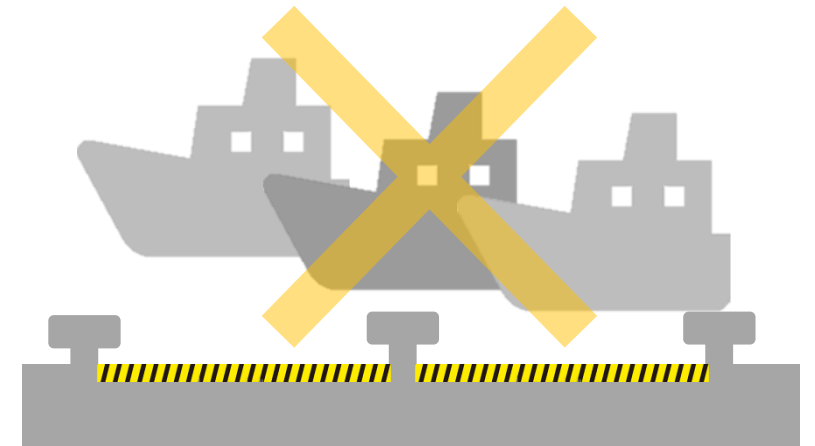
経営や家族への影響

- 休漁により収入が減ってしまう
- 最悪の場合、漁業をやめなければいけなくなる
- 家族に大変な思いをさせたり、悲しませることにもなる



地域漁業への影響

- 漁業の担い手がいなくなると、地域の産業への影響も大きい



安全な産業になり、後継者に漁業を継いでもらうことが重要

02

事業者の安全対策
～安全意識を高める～

この章で学ぶこと

事故にあわないためには、まずは「事故は決して他人事ではない」と認識し、安全に向けて行動を見直すことが大切です。

1

安全な服装・装備を徹底する

2

危険箇所を改善する

3

ヒヤリ・ハットは必ず振り返りを行う

1. 安全な服装・装備を徹底する



こんな行動、していませんか？

- 港に近づくと、面倒なのでライフジャケットを脱いでしまうことがある
- 長靴がすり減っているが、「そのうち交換しよう」と思いながら、そのまま使っている
- クレーン作業時、面倒なのでヘルメットは被らない。



このようにすることで、 事故を防ぐことができます。

- 水上では、ライフジャケット着用を徹底
- ライフジャケットは作業内容にマッチしたタイプを着用する
- 安全装備は、メンテナンスをしっかりと行ったものを着用する
- 頭部の保護のため、ヘルメットを着用する

作業内容にあったライフジャケットの選択

固定式



- 防寒性がある

膨張式



- コンパクトで作業を妨げにくい

空気密封式



- 柔らかく動きやすい
- 引っ掛かりにくい
- 防寒性がある



クレーン作業や落下物のおそれ
等がある場合のヘルメット着用

2. 危険箇所を改善する



こんな行動、していませんか？

- 滑りやすい箇所や、段差がある場所、ぶつかりやすい突起などがあるが、「わかっているから大丈夫」とそのままにしている



このようにすることで、
事故を防ぐことができます。

- 直せる危険箇所は、あらかじめ直す
- 直しづらい箇所は、色を塗り分けるなどして視認性を高める

急にバランスを崩した際の事故を防ぎやすくなります。



手すりの設置

滑りにくい床塗装



魚倉蓋の色を
塗り分ける

3. ヒヤリ・ハットは必ず振り返りを行う



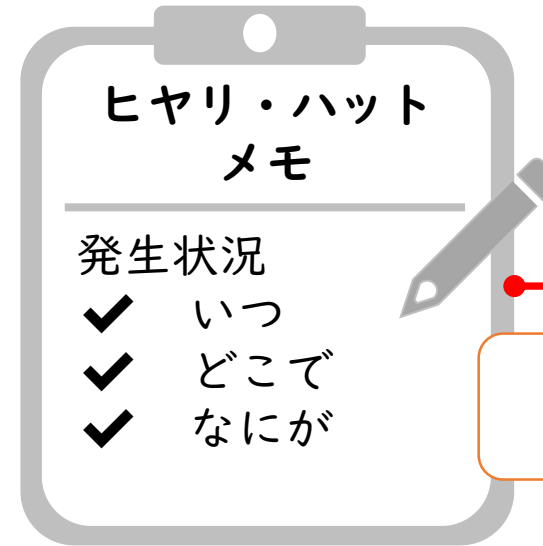
こんな行動、していませんか？

- 「ヒヤッ」としたことがあったが、「たまたま起きたことだ」とそのままにしてしまう
- 恥ずかしいので、他の人には言わないでおくことがある



このようにすることで、
事故を防ぐことができます。

- 事故にはならなかったとしても、同業者や他の作業者に話したり、簡易的にメモなど記録を残す
- ヒヤリ・ハットを乗務員に報告してもらい、事故につながらないよう、対応策を皆で検討する場を設ける



ヒヤリ・ハットのメモから
対策を検討

ヒヤリ・ハットを共有する



03

事業者の安全対策
～機械を安全に使う～

この章で学ぶこと

漁業は、船舶はもちろんのこと、漁業機械を使う漁業種類も多くあります。
これらの船舶や機械は、故障や不具合、使い方の誤りなどで大きな事故につながりかねません。

1

船舶や機械は点検を十分に行う

2

より安全な機械や技術を知る・導入する

3

機械を正しく使う

1. 船舶や機械は点検を十分に行う



こんな行動、していませんか？

- 出航前点検は、音などに異常があるときだけ実施している
- 一部の項目のみ確認している
- 漁労用の機械（ウィンチ、ローラー、クレーンなど）を使っているが、特に点検する機会がない



このようにすることで、
事故を防ぐことができます。

- 出航前点検は、推奨されている項目について毎回行う
- シーズン前など、船の定期点検時等、船と同様のタイミングで、漁労用の機械についても、造船所等に点検してもらう

発航前検査チェックリスト

- ☐ 船体に亀裂や破口はないですか。
- ☐ エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。
- ☐ 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
燃料コックは開いていますか。
- ☐ 燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ☐ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。

...

2. より安全な機械や技術を知る・導入する

たとえば、こんな技術もあります

海中転落時の自動通報システム

- 海中転落した際に、落水をセンサーで感知し、管理部門に通報する仕組み

海中転落時の自動通報イメージ



漁労機器の緊急停止装置

- 巻き込まれそうになった際に、音声で緊急停止できる装置や、緊急停止レバーなどの装置の後付け

漁労機器の緊急停止装置

「止まれ」の声でウィンチ停止

緊急停止レバー



3. 機械を正しく使う



こんな状況に、なっていませんか？

- 単純な機械のため、使い方は十分わかっており、心配ないと思いがち
- 取扱説明書があるが、見る機会は少ない



このようにすることで、
事故を防ぐことができます。

- スイッチを色分けすることで、慌てているときやとっさの指示が必要なときにもわかりやすくする
- 忘れがちな声掛けなどの手順を身近なところに記載しておく



機械のスイッチを色分け

遠隔操作盤の近くに
取扱方法や注意点を掲示

停止中点滅



復帰



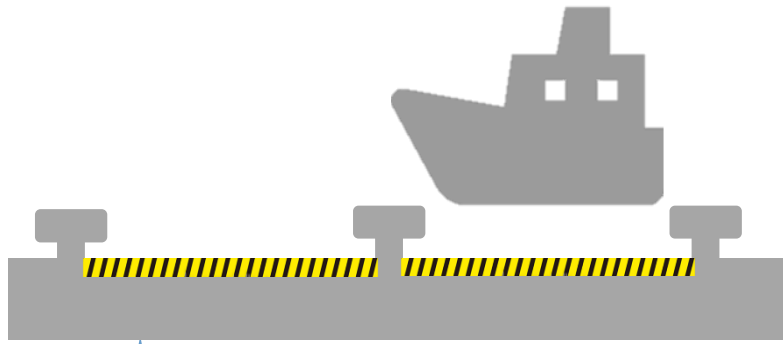
緊急停止



復帰のときは
声掛け徹底
足元確認

最後に：安全について考える機会を設けましょう

日々のチェック



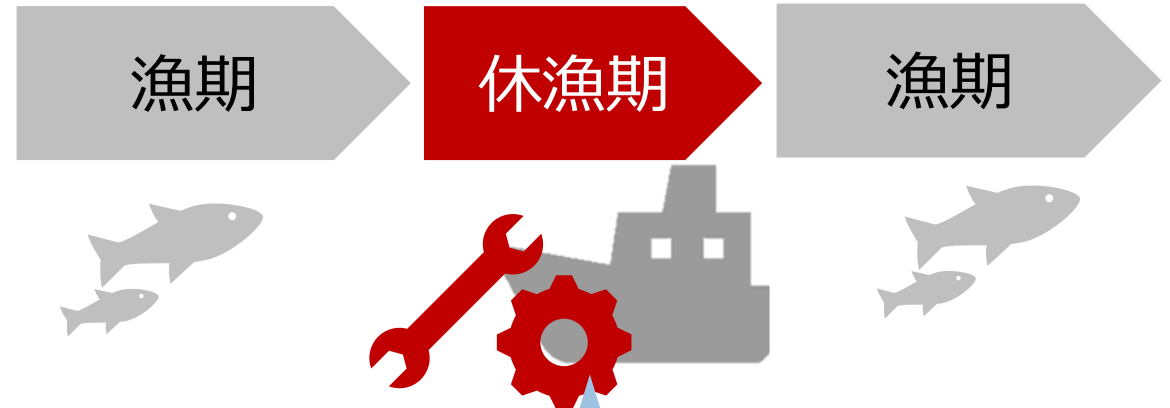
出航時のチェックの例

- ✓ 天候は問題ないか？
- ✓ 体調は無理をしていないか？

帰港時のチェックの例

- ✓ ヒヤリ・ハットはなかったか？

年1回のチェック



チェックの例

- ✓ 船や機械を外部点検に出したか？
- ✓ 危険な箇所など直すところはないか？

作業安全規範チェックシート

作業安全規範 チェックシート

安全に操業するために事業者が取り組む項目を24項目にまとめています。
年1回など定期的なチェックを行うことで、安全への取組を振り返ることができます。

農林水産省・食品産業の作業安全のための規範（個別規範：漁業）
事業者向け チェックシート

所属漁協名	
事業者名	
記入者 役職・氏名	
船名/トン数	
漁業種別 (複数の漁業種別を営んでいる場合は、 漁業種別すべてに記入ください。)	
雇用労働者の有無	有 / 無
記入日	令和 年 月 日

現在の取組状況をご記入下さい。

具体的な事項	○ 実施 × 実施していない △ 実施、実施予定 → 該当しない
1 作業安全確保のために必要な対策を講じる	
1-1 人的対応力の向上	
1-1-1 作業事故防止に向けた具体的な目標を設定する。	
1-1-2 知識、経験等を踏まえて、安全対策の責任者や担当者を選任する。	
1-1-3 作業安全や漁業多岐に関する研修・教育等を受ける。また、作業安全に関する最新の知見や情報の幅広い収集に努める。	
1-1-4 適切な技能や免許等の習得を促す。	
1-1-5 職場での慣れや定期的な集合等により、従事者間で作業の技術や安全意識を共有する。	
1-1-6 安全対策の推進に努め、従事者間の提言を行う。	
1-2 作業安全のためのルールや手順の遵守	
1-2-1 関係法令を遵守する。	
1-2-2 声や機器や係留設備、管理設備の使用に当たっては、取扱説明書の確認等を通じて適切な使用方法を確認する。	
1-2-3 ライフジャケットの着用を徹底するとともに、作業に応じ、安全に配慮した服装や保護具等を着用する。	
1-2-4 健康状態の管理を行う。	
1-2-5 作業中に必要な休憩をとる。	

Point
実際に安全対策に
取り組んでみましょう

Point
作業安全規範チェックシート
を使ってみましょう



Point
×がついている項目は、
取り組めないか検討しましょう

水産庁のWebサイトより、「事業者向け個別規範チェックシート」がダウンロードできます。対策の見直しに是非ご活用ください。

漁業 作業安全 規範

漁業では、非常に多くの事故が起こっています。
皆さんは、「船や海のことにはよくわかっている」「大丈夫」と
感じていらっしゃるかもしれません。
でも、「**もしも**」ということがあります。

事故にあわずに漁業を行っていくためには、
一人ひとりが「**決して他人事ではない**」という意識をもつことが重要です。

まずは、安全について、周囲の人と「**これだけはやろう**」と思えることを
話し合ってみませんか？

頁数	出典
表紙	画像：農林水産省 作業安全規範ポスター「「安全」こそ、何よりの収穫だ。」
4	事故事例：各社報道情報より弊社作成
5	画像：農林水産省 事故体感動画より抜粋
9	画像：水産庁「漁業者のためのライフジャケットの着用手引き」
10	画像：全国漁業就業者確保育成センター「漁業カイゼン講習会」動画より抜粋、安全点検マニュアル
11	画像：農林水産省 作業安全規範解説動画より抜粋
15	画像：農林水産省「農林水産業・食品産業 作業安全推進Week」より城ヶ崎海岸富戸定置網株式会社提出資料、水産庁「作業安全推進ウェビナー」（令和3年度）より一般社団法人海洋水産システム協会提出資料
16	画像：全国漁業就業者確保育成センター「漁業カイゼン講習会」動画より抜粋
18	画像：農林水産省「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範（個別規範：漁業）事業者向けチェックシート」